建築人

2022
6

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.696

建築人

2022.06 No.696

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「都市クリエイト新社屋」2019年

第40回 大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）緑化賞 受賞作品
設計：大成建設一級建築士事務所
施工：大成建設
撮影：伸和

高槻市、阪急高架沿いにあるオフィスビル。オフィスで働く人たちの環境を重視し、都会にありながらも自然を感じるワークスペースを実現している。階段状にセットバックした屋上が立体的な庭園をつくり出し、内と外に対し緑豊かな空間を提供している。

2 大阪ここちエエ

4 Gallery 建築作品紹介
「ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 京都」
設計：竹中工務店
施工：竹中工務店

「緑丘の家」
設計：井上久実設計室
施工：西友建設

「幼保連携型認定こども園淡路幼稚園」
設計：深江康之建築設計事務所
施工：藤木工務店

「愛光みのり保育園」
設計：深江康之建築設計事務所
施工：藤木工務店

8 第65回大阪建築コンクール入賞発表

12 動静レポート

13 Topics

14 インフォメーション・事業案内

18 記憶の建築
「羽島市庁舎」1959年
建築的散策路による開かれた公共空間の実現 / 松隈 洋

建築人 No.696 2022年6月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部
部門長：荻窪伸彦（編集人代表）
委員長：松下典央
編集人：飯田英二 梅田武宏 笠井志保 河合哲夫
茂籠一之 大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義
三谷勝章 武藤優哉 若江直生
事務局：山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和4年6月1日発行
発行人：会長／岡本森廣
発行所：公益社団法人大阪府建築士会
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F
tel. 06-6947-1961

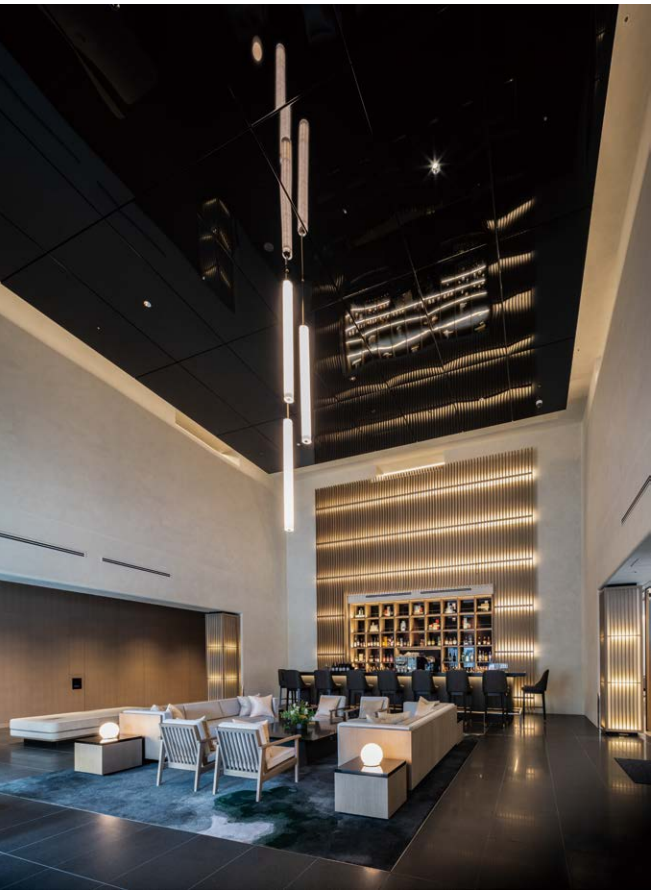
大阪ここちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪府高槻市を流れる芥川に、市民のボランティア活動によって大空を雄大に泳ぐ「こいのぼりフェスタ1000」を紹介したい。
会場の桜堤公園はJR高槻駅から徒歩圏内で、芥川商店街や西国街道沿いには歴史遺産もあり散策も楽しめる。
今年で30回を迎えたイベントで、市民有志の方々により開催されている春の風物詩となっている。子どもたちがのびのびと大きく羽ばたいて欲しいという願いを込めて、芥川の上空に市内の幼稚園や高齢者施設などで作られたオリジナル100匹を含む、凡そ1000匹の色とりどりのこいのぼりを泳がす。
新型コロナウイルスの影響により、ようやく3年ぶりに開催され、これは市民の絶大なる協力があって開催されたものだ。他地域でもこれに引き続き、夏祭りなども開催されることを切に願う。子供のころの楽しい思い出は、大人になっても忘れないものだ。

ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 京都

設計：竹中工務店
施工：竹中工務店



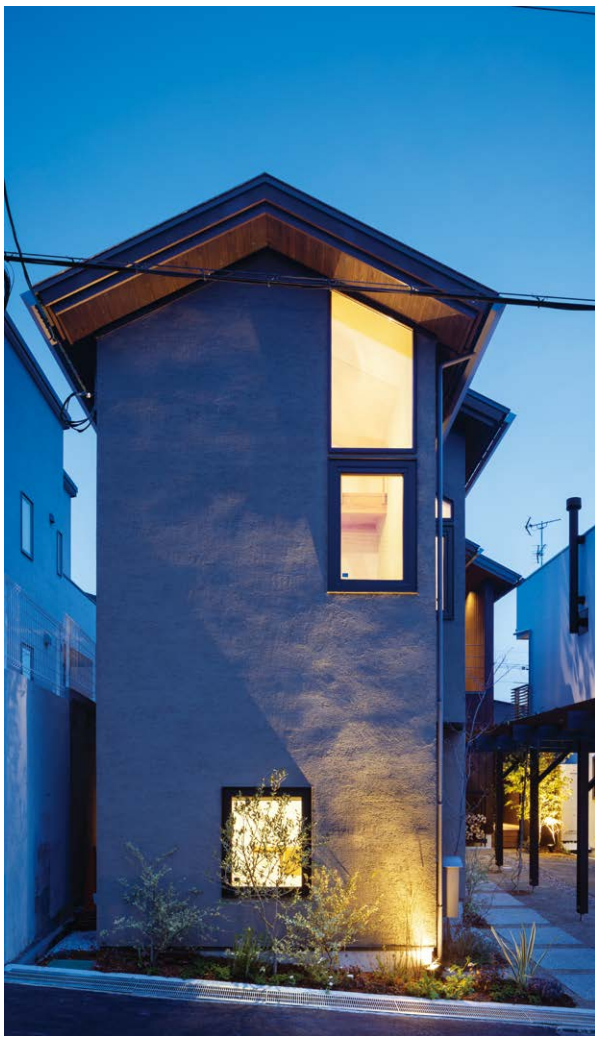
「京都に住まうように滞在する」ことのできる、全125室のライフスタイルホテル。客室を豊かな外部空間へ開放し、まるで京都の街に包まれているかのような滞在体験の提供を目指した。
筒型耐震壁とフラットスラブの構成で、客室を明るく開放的な空間とし、コアとなる筒形耐震壁の足元をバーラウンジとして反転させた象徴的な空間性で、ゲストとのファーストコンタクトを豊かなものにしたいと考えた。
白と黒のファサードは、西隣の登録有形文化財「嶋臺」に敬意を表したものであり、欅の緑や西に沈む夕日が、ホテルでの滞在に美しい時の流れを添えてくれる。

所 在 地：京都市中京区
用　　途：ホテル
竣　　工：2022.03
構造規模：RC造
　　一部SRC・S造
　　地下1階
　　地上9階
敷地面積：1,044.66㎡
建築面積：914.21㎡
延床面積：7,399.06㎡
写　　真：母倉知樹

Gallery

緑丘の家

設計：井上久実設計室
施工：西友建設



初めて計画地を見た際、車の大きさとは不釣り合いな大きな市販のカーポートが、この界隈の街並みを作っていた。駅から離れた郊外では車庫2台は必須ではあるものの、何か気になった。そこで、間口9mの縦長の敷地に、住宅、植栽と車庫の3つを並行に配置した。敷地は奥に向かって勾配があり、建物は平面と高さの双方で徐々に拡がりを増していく。通り側に高さを抑えた小さな個室を置き、奥に大きな気積の家族スペースを置くことで、街に対する人間的なスケール感を守った。植栽とアプローチを挟んで並ぶ車庫はパーゴラで覆われており、やがてクレマチスとジャスミンが一面に拡がり、住宅と並ぶ緑のファサードを形成し、この界隈の新たな景となることを楽しみにしている。

所 在 地：大阪府豊中市
用　　途：1戸建住宅
竣　　工：2022.03
構造規模：木造
　　地上2階建
敷地面積：150.76㎡
建築面積：60.27㎡
延床面積：108.17㎡
写　　真：冨田英次

幼保連携型認定こども園淡路幼稚園

設計：深江康之建築設計事務所
施工：藤木工務店

大阪市東淀川区東淡路。多様に交差する路線の高架化や駅周辺の再開発事業を背にし、住宅密集地に建つ。昭和2年よりこの地で幼稚園を開園し増改築を繰り返し行ってきた4階建て既存園舎の老朽化と、105名を受け入れる「幼保連携型認定こども園」への移行として建て替える事になった。複雑な様式の場で保育を行っていた既存園舎と入り組んだ周辺環境の関係から、整った形式と園舎を簡素化しスケールダウンさせる手法をとり、新しく建築が在ることで密集地の密度緩和を能動的に目指した。また、園児たちが園舎で過ごす時間の方向性（方位と時間と季節と建築の形式）を素直に感じ取れる空間を意図した。

所在地：大阪市東淀川区
用途：幼保連携型認定こども園
竣工：2021.03
構造規模：RC造 2階
敷地面積：1,296.61㎡
建築面積：479.95㎡
延床面積：902.68㎡
構造設計：海野構造研究所
写真：笹倉洋平

愛光みのり保育園

設計：深江康之建築設計事務所
施工：藤木工務店

京都府最南端である木津川市に位置し、爽やかな風と山々を袖で密に感じる高台に立地する。土地区画整理事業により新たなまちづくりに着手している地で、新たな住人を迎えるべく先行して建つ、最大定員200名の回廊型平屋建て保育園。回廊の中心部にあたる屋外園庭に向けて大きく開口を配置し、保育空間と園庭を外廊下の回廊で継なぐ形状とした。保育空間は100φの鉄骨無垢柱で構成し、受け入れ人数の流動性に対応するため間仕切り壁を無くし、移動家具で隔てる事で建築に縛られない自由さを持たせた。内的開放空間を大きくつくる事により、「内と外の距離」を身近に感じる生活の場を計画した。

所 在 地：京都府木津川市
用　　途：保育所
竣　　工：2014.04
構造規模：鉄骨造 平屋
敷地面積：3,005.01㎡
建築面積：1,231.58㎡
延床面積：1,139.58㎡
構造設計：満田衛資構造計画研究所
写　　真：母倉知樹

第65回大阪建築コンクール入賞発表

主催／公益社団法人大阪府建築士会　後援／大阪府

■大阪府知事賞部門	大阪府知事賞	富田のコートハウス	大西憲司
		大丸心斎橋店本館	岡田泰典･児玉謙･木村秀男･松本伸洋･池田猛･戸田忠秀･木全瑛二
		三栄建設 鉄構事業本部新事務所	瀬山充博･小幡剛也･田中盛志･大野正人･内山元希･世利公一･小玉直史
■渡辺節賞部門	渡辺節賞	みんか 2020	興津俊宏
		台地の FORTE	佐藤達保

趣旨

建築士はその職責を通じて地域社会の発展に寄与し、建築美を通じて建築文化の向上、ひいては地域文化の振興にも寄与していく必要があり、その責務は重大である。

大阪建築コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の設計者を表彰する。同時に行う渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者をたたえ、さらなる発展を望むものである。

募集範囲

2016 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物

＊建築確認申請不要物件は完了検査済証不要

＊竣工年月日は工事完了時

●大阪府知事賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者

●渡辺節賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者

完了検査済証発行日現在 39 歳以下

審査委員会

委員長　長坂　大（京都工芸繊維大学教授）

委　員（※50音順）
植野甚一（大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室室長）
荻原廣高（神戸芸術工科大学准教授）
中嶋節子（京都大学大学院教授）
満田衛資（京都工芸繊維大学教授）

審査

応募数　大阪府知事賞部門 34 点
渡辺節賞部門 11 点

審査委員会 4 回

●第 1 次審査

2 月 14 日　書類・図面、写真によって、大阪府知事賞部門 9 点、渡辺節賞部門 4 点を選考

●第 2 次審査

3 月 4 日、3 月 10 日　第 1 次審査通過作品について現地審査を 2 日間実施

●最終審査

3 月 10 日　第 2 次審査終了後に実施

大阪府知事賞部門：大阪府知事賞 3 点、渡辺節賞部門：渡辺節賞 2 点を選出

表彰式

開催日　令和 4 年 5 月 18 日（水）

会　場　KKR ホテル大阪
（本会定時総会式典席上）

審査経過並びに総評

審査委員長
長坂　大

今年も新型コロナウィルス感染中での審査となり、一次審査はオンライン形式としたが、二次審査は現地審査を行なって入選作を決定した。応募数は「大阪府知事賞」34 点、「渡辺節賞」11 点であった。2 月 14 日の一次審査で、現地審査対象作品を、それぞれ 9 点と 4 点選抜し、3 月 4 日と 10 日の 2 日間で現地審査を行った。現地審査終了後の最終審査会にて、知事賞対象作品 3 点、渡辺節賞対象作品 2 点を決定した。今年は現地を見たいと思う作品が多く、全体的に好印象であったが、その一方で作品評価は拮抗していて、優秀案を決定するには十分な議論が必要であった。

「三栄建設鉄構事業本部新事務所」は、現地を見た後審査委員の印象が好転した作品である。ダイナミックな空間構成と構造の積極的な試みが、ゆったりしたスケールで実現しており、鉄骨加工業を営む事業主の技術的可能性を試みる場として素直に受け入れられる。広い工場敷地全体に対する 90m のファサードにも配置計画的な説得力がある。「富田のコートハウス」は密集市街地の旗竿敷地を、コートハウスの手法を用いて豊かな居住空間とした作品である。洗練された細部による、多様な屋内と庭の関係が見られ、設計者の工夫によって敷地条件が好転することをよく示している。「大丸心斎橋店本館」は、旧本館のファサードを高度な技術を駆使して保存し、新しいボリュームとともに再生させた作品である。保存再生のために割かれた社会的、経済的、技術的エネルギーに敬意を表したい。「台地の FORTE」は、擁壁を契機としたアイデアが明快な作品である。台地内に相当する 1 階と、開けた眺望を生かした 2 階とのコントラストが魅力的な住宅となっている。「みんか 2020」は、考え抜かれた断面構成に特徴がある。外観からは単純に見える内部空間に、様々な高さの床が設定され、小さな住宅ながら居住者の多様な活動が期待できる。

以下、現地審査をした中で惜しくも入選に至らなかった作品について記しておくことにする。「ACADEMIC-ARK@OTEMON GAKUIN UNIVERSITY」は、こ

れだけの規模の大学施設を、特徴的な物体としてまとめきった設計者の力量を十分評価したい。しかし、学生や教職員が長時間過ごす屋内空間としてはやはり全体的に単調だと思う。明快な「全体」を損なわない多様な「部分」が必要であろう。「ユニソン大阪事業所」は、コミュニティースペースの空間に好感を持った。建材メーカーである建主の製品をふんだんに用いた内外の床材構成も、商品陳列の域を超えて楽しい空間造形となっている。ただ、中庭まわりの事務室・コミュニティースペース・休憩室の構成にはもう少し提案がありそうに思った。「京都府茶業研究所」は、すっきりとした中庭型プランとシンプルな立面が周囲の自然と美しいコントラストを描いていて好感が持てる。しかし、その中庭の使い方や見え方について、より踏み込んだ提案が必要だと感じた。また背後の茶畑との関係についても積極的な提案があり得たように思う。「イチネングループ本社ビル」は、天空率を意識して生まれた断面構成に魅力のある作品である。セットバック替え階の７階屋上庭園は、社員や来客のための快適な空間となっていて、オフィスビルの優れた事例となっている。ただ、ファサードを決定づける特注ルーバーが、近隣マンションとの視線関係を解決する遮蔽スクリーンとして利用者に満足されておらず、すべての階でブラインドを下げた状態となっていたのは大変残念であった。建築のファサード、窓、人々の眺望、視線のコミュニケーション。建築の表層のありかたは、建築の本質的話題だと思う。「タクマビル新館（研修センター）」は、木造架構への取り組みの姿勢が明快で、ダブルスキンの立面もすっきりとまとめられている。ただ、木を使った構造と素材がテーマであるからには、コアまわりに化粧として CLT パネルを使うのは避け、コアの構造が新しいインテリアの契機とならなかっただろうか。「日本圧着端子製造 大阪技術センター別館」は、ユニークな形の増殖可能なユニット魅力的で、施工条件の制約に対する構法的な解決案としても優れていた。ただ、研究施設として利用状況と内部空間の大きさの関係にはやや無理があるように思われた。

この審査期間中、ロシアのウクライナ侵攻は激しさを増していた。私たちが建築や都市の可能性について語り、日常生活の豊かさについて議論している時に、ウクライナでは建築や都市が破壊され、人々の日常が、命が奪われ続けていた。建築は人を殺すためではなく、幸福にするためにつくられるものだ。平和な場所では、日常生活の豊かさを追求し、建築を通して多様な試みが可能であることを痛感した。建築は人間の生存に関わるものであることを忘れてはならないし、同時に人々の日常を彩るものであってほしいとつくづく思う。

■大阪府知事賞部門　大阪府知事賞　富田のコートハウス

設計者　大西憲司（大西憲司設計工房）

大西憲司
1948年8月生まれ
1971年 近畿大学理工学部建築学科卒業
1971年～ 清水和弥設計事務所
1983年～ オーク建築研究所
1998年 大西憲司設計工房開設

［主な建築作品と受賞歴］
●御領の家　2002年 大阪建築コンクール/大阪府知事賞
2004年 大阪府まちなみ賞/大阪府知事賞
●戸建の木の集合住宅　2005年 大阪建築コンクール/大阪府知事賞
2006年 大阪府まちなみ賞/奨励賞
●GARDEN PLACE TSURUMI
2014年 第3回大阪みどりのまちづくり賞/奨励賞
第27回大阪市ハウジングデザイン賞/大阪市ハウジングデザイン賞

建築位置／大阪府高槻市
建物用途／戸建住宅
建　築　主／前島裕紀・前島紗也佳
施　工　者／西友建設株式会社
竣工年月／2020 年 11 月

構　　造／木造
階　　数／地上 2 階
敷地面積／ 191.47㎡
建築面積／ 88.25㎡
延床面積／ 145.65㎡

撮影　福澤昭嘉

〈審査講評〉戸建住宅に囲まれた旗竿敷地に立つコートハウスである。敷地周囲に張り巡らせた塀の圧迫感を感じさせないよう２階に家族団らんの場となる LDK を配置、１階のホールや和室などにおいても、東庭・中庭からの採光確保だけでなく、居場所ごとに異なる外部とのつながりが、快適な住空間を創り出している。また、軒高まで達するシルバーのガルバリウム鋼板の波板塀も主張が強すぎず、適度な光の反射が心地よい空間の演出に寄与している。　（審査委員　植野甚一）

■大阪府知事賞部門　大阪府知事賞　大丸心斎橋店本館

設計者　岡田泰典・児玉謙・木村秀男（株式会社日建設計）、松本伸洋・池田猛・戸田忠秀・木全瑛二（株式会社竹中工務店）

岡田泰典
1966年1月生まれ
1988年3月 京都大学工学部建築学科卒業
1990年8月 パリ建築大学ラヴィレット校
1992年3月 京都大学工学研究科建築学専攻修士課程修了
1992年4月 株式会社日建設計入社／現在、同社設計部門ダイレクターアーキテクト

松本伸洋
1967年1月生まれ
1985年4月 京都大学工学部建築学科入学
1989年3月 京都大学工学部建築学科卒業
1992年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了
1992年4月 株式会社竹中工務店入社／現在、同社設計部部長

児玉謙
1963年5月生まれ
1986年3月 京都大学工学部建築学科卒業
1988年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了
1988年4月 株式会社日建設計入社／現在、同社取締役常務執行役員設計部門統括

池田猛
1966年11月生まれ
1987年9月 大阪府立大学工学部船舶工学科中途退学
1992年3月 京都大学工学部建築学科卒業
1992年4月 株式会社竹中工務店入社／現在、同社設計部チーフアーキテクト

木村秀男
1983年11月生まれ
2006年3月 和歌山大学システム工学部環境システム学科卒業
2008年3月 和歌山大学システム工学研究科システム工学専攻修士課程修了
2008年4月 株式会社日建設計入社／現在、同社設計部門プロジェクトアーキテクト

戸田忠秀
1979年6月生まれ
2002年3月 京都大学工学部建築学科卒業
2004年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻卒業
2004年4月 株式会社竹中工務店入社／現在、同社設計部チーフアーキテクト

木全瑛二
1987年10月生まれ
2010年3月 名古屋工業大学工学部建築・デザイン工学科卒業
2012年3月 名古屋工業大学社会工学専攻修了
2012年4月 株式会社竹中工務店入社／現在、同社設計部主任

建築位置／大阪市中央区
建物用途／百貨店
建　築　主／株式会社大丸松坂屋百貨店
施　工　者／株式会社竹中工務店
竣工年月／2020 年 9 月
構　　造／SRC 造・S 造
階　　数／地上11階、地下3階、PH1階
敷地面積／10,755.72㎡（北館・道路を含む）
建築面積／5,631.51㎡
延床面積／66,367.87㎡

撮影　株式会社竹中工務店

〈審査講評〉御堂筋の顔として永く愛されてきた大丸心斎橋店の建て替え工事である。W.M. ヴォーリズによって設計された旧館の御堂筋側ファサードと内装の一部ほかを保存し、高層化された。優れた建築と景観を継承するための多大な努力に敬意を表したい。加えて地下通路や地下鉄駅前広場、大通寺通の「光のゲート」の整備など、建物のみならず地域の回遊性やにぎわいへの貢献が高く評価された。（審査委員　中嶋節子）

■渡辺節賞部門　渡辺節賞　みんか 2020

設計者　興津俊宏

興津俊宏
1981年6月生まれ
2000年4月 広島大学工学部第四類入学
2004年3月 同上卒業
2004年4月 広島大学大学院工学研究科入学
2006年3月 同上修了
2006年4月 株式会社竹中工務店入社
現在、同社設計部シニアチーフアーキテクト

［主な建築作品と受賞歴］
●みんか2013（2013）：
住まいの環境デザインアワード2014住空間デザイン優秀賞
●第31回日新工業建築設計競技二等（2004）

建築位置／大阪市阿倍野区
建物用途／戸建住宅
建　築　主／興津俊宏
施　工　者／杢工舎
竣工年月／2020 年 7 月
構　　造／木造
階　　数／地上 2 階
敷地面積／112.31㎡
建築面積／44.88㎡
延床面積／89.76㎡

撮影　母倉知樹

〈審査講評〉大屋根が２階をくるんだような外観と、これによって低く下げた軒が、路地から軒下、土間、そして屋内まで連続した空間性を生み出している。さらに屋内では、家族の集まる１階と、スキップフロアにより様々な居場所が現れる２階にいたるまで、空間の連続性と領域性が巧みに操作されている。この空間性を利用した暖気循環の仕組みや、さまざまな手仕事がみせる温もりも加わり、屋内外でのいきいきとした生活を支えている。（審査委員　荻原廣高）

■大阪府知事賞部門　大阪府知事賞　三栄建設 鉄構事業本部新事務所

設計者　瀬山充博・小幡剛也・田中盛志・大野正人・内山元希・世利公一・小玉直史（株式会社竹中工務店）

建築位置／大阪市大正区
建物用途／事務所
建　築　主／株式会社三栄建設
施　工　者／株式会社竹中工務店
竣工年月／ 2020 年 10 月
構　　造／ S 造
階　　数／地上 3 階
敷地面積／ 95,156.50㎡
建築面積／ 2,103.10㎡
延床面積／ 4,710.55㎡

撮影　母倉知樹

瀬山充博
1976年 大阪生まれ
1999年 京都工芸繊維大学造形工学科卒業
2001年 同大学大学院修了後、竹中工務店設計部入社／現在、同社設計部シニアチーフアーキテクト

小幡剛也
1969年 大阪生まれ
1991年 京都大学工学部建築学科卒業
1993年 同大学大学院修了後、竹中工務店設計部入社／現在、同社設計部第三部長／2017年より神戸大学非常勤講師／2020年より神戸大学客員教授

田中盛志
1979年 東京生まれ
2002年 東京工業大学建築学科卒業
2003年 デルフト工科大学留学
2005年 東京工業大学大学院修了後、竹中工務店設計部入社／現在、同社設計本部主任

大野正人
1976年 大阪生まれ
2000年 京都大学工学部建築学科卒業
2002年 同大学大学院修了後、竹中工務店設計部入社／現在、同社設計部構造グループ長／博士（工学）

内山元希
1987年 兵庫県生まれ
2010年 京都大学工学部建築学科卒業
2012年 同大学大学院修了後、竹中工務店設計部入社／現在、同社設計部主任

世利公一
1975年 福岡県生まれ
1999年 九州大学工学部建築学科卒業
2001年 同大学大学院修了後、竹中工務店設計部入社／現在、同社設計部シニアチーフエンジニア

小玉直史
1983年 東京生まれ
2002年 東京理科大学理工学部建築学科卒業
2008年 同大学大学院修了後、竹中工務店設計部入社／現在、同社タイ支店設備設計マネージャー

〈審査講評〉建築主でもある鉄骨ファブリケータの事務所棟である。諸機能を立体ボロノイ分割して空間分節する試みは、多様で心地よい空間を創造していた。一方でそのような正規直交グリッドに乗らない柱・梁・壁による構成は建設難易度を著しく高めるのだが、ここでは積極的に BIM を活用し、ディテールレベルで構造性能と意匠性を両立させると共に、道路運搬不要な地の利を活かして高精度な施工を実現していた。この高い総合力がそのまま高い評価へと繋がった。（審査委員　満田衛資）

■渡辺節賞部門　渡辺節賞　台地の FORTE

設計者　佐藤達保

佐藤達保
1980年7月生まれ
2000年4月 神戸大学工学部建設学科入学
2004年3月 同上卒業
2004年4月 神戸大学大学院自然科学研究科建築学専攻
2006年3月 同上修了
2006年4月 株式会社竹中工務店設計部入社、現在に至る

［主な建築作品と受賞歴］
● 立体最小限家具（2010年国際デザインコンペティションプロダクト賞）
● 台地のFORTE（2018年ケイミュー施工事例コンテストSOLID賞）

建築位置／大阪市阿倍野区
建物用途／戸建住宅
建　築　主／佐藤達保
施　工　者／株式会社安井工務店
竣工年月／ 2018 年 7 月

構　　造／木造
階　　数／地上 2 階
敷地面積／ 185.69㎡
建築面積／ 67.12㎡
延床面積／ 106.30㎡

撮影　平井広行

〈審査講評〉上町台地のエッジに建つ小住宅である。10m もの高低差のある法面上の崖ぎりぎりに建物を寄せる配置、法面をそのまま延長したかのような地中を思わせる 1 階、片流れの軽快な屋根の下、3 方向に大きく開かれた 2 階の空間構成など、土地のコンテクストを素直に立ち上げた設計が清々しい。厳しい敷地条件を魅力的な場所へと転換している。エンジニアリングウッドなど合理的な材料、工法が採用される一方、厳選された原木の造作材や納まりに大工の手仕事へのこだわりが感じられる。渡辺節賞に相応しい瑞々しい建築である。（審査委員　中嶋節子）

動静レポート

本会は運営、研修、事業、建築表彰、建築情報、社会貢献の6つの部門により活動しています。

会長動静

4/27　辻裕樹氏褒章受章祝賀会
5/ 4　滋賀県建築士会・近江の文化祭
5/10　在阪４建築団体・会長支部長会議
5/13　運営部門会議
5/17　建築士会の災害対応意見交換会
5/18　定時総会、70 周年記念講演会
5/19　日本建設業連合会関西支部懇親会
5/24　大阪府収用委員会
　　大阪府建築士事務所協会総会

令和４年度定時総会の開催

5 月 18 日に定時総会を開催し、総正会員数 2,406 名に対して 1/3 以上となる 862 名（うち委任状 743 名）の出席で定款第 17 条に照らして成立しました。

◇岡本森廣会長の挨拶

本会は本年の３月 27 日をもって創立 70 周年を迎えることができました。これも偏に会員の皆様の熱い情熱と行動、また行政庁や関係団体等との協力体制から成しえたものと感謝申し上げます。
コロナ禍での本会活動はたいへん大きな影響を受けており、財政的にもかつてないほどの危機に陥る状況に直面しておりますが、これまでも困難な事象を克服して乗り越えてきた経験から、社会に貢献できる専門家団体として着実な活動を進めてまいりたいと思います。
今後とも会員の皆様、そして弁護士会など建築士に限らない多様な団体との協働も進めながら、「建築士会の会員なら頼れる」と社会から信頼される建築士会のブランド化を推進して参りたいと存じます。

◇第１号議案（令和３年度事業報告）
令和３年度に実施した公益目的事業、収益事業、その他事業について、運営･研修･事業・建築表彰・建築情報・社会貢献の常設部門別に報告し、承認しました。

◇第２号議案（令和３年度財務報告）
貸借対照表により、資産の部で流動資産合計は 74,468,949 円、固定資産合計は 68,864,660 円、流動資産と固定資産の合計は 143,333,609 円です。
流動負債合計は 49,860,954 円、固定負債合計は 39,717,800 円、流動負債と固定負債の合計は 89,578,754 円です。正味財産合計は、前年度から△494,084 円減少して、53,754,855 円です。
正味財産増減計算書による経常収益計は 175,872,328 円、経常費用計は 176,366,412 円、当期経常増減額は△494,084 円です。
前年度からコロナ禍における事業環境の変化の影響が大きく、Web 講習の促進など改善に向けて努力をしましたが当期経常増減額がマイナスの決算となりました。
公益法人を満たす条件の１点目は、公益目的事業小計が経常費用計の合計額の 1/2 以上になっていること、２点目は、当期経常増減額で公益目的の３事業及び小計欄がそれぞれマイナスであること、３点目は、収益事業会計の 50% を公益目的事業に振替えてもマイナスになっていることが必要です。
以上の条件３点がすべて満足されており、令和３年度の決算において、本会は公益社団法人としての基準を満足していることを報告しました。

◇第３号議案（令和４年度役員選任）
理事・監事候補者選考委員会から推薦され、理事会で承認された理事候補者 23 名が総会において選任され、令和４年度の役員構成は理事 48 名、監事２名となりました。

■表彰式
名誉正会員称号、栄誉・永年会員、CPD 制度表彰の会員表彰と、第 65 回大阪建築コンクール、第 14 回建築人賞の建築作品表彰を行いました。

■創立 70 周年記念講演会

香山壽夫氏（東京大学名誉教授・香山建築研究所会長）をお迎えして「建築は人と人をつなぐ、社会の言葉～美しく、大切に作りたい～」をテーマにご講演をいただきました。

香山壽夫氏の講演会

なお、会員交流のための懇親会は、コロナ禍により中止いたしました。

飯田英二特任相談役と田代加奈理事が大阪府知事表彰を受賞のため来会

飯田英二氏（㈱ IMO デザイン代表取締役）と田代加奈氏（㈱環取締役）が５月３日に、大阪府知事表彰を受賞されました。
飯田英二氏は、平成 12 年より青年委員会で若手建築士を対象にした企画を行う委員活動を始め、平成 15 年には評議員、平成 23 年からは建築情報委員会の理事、平成 26 年から同副委員長に就き、平成 28 年には同委員長として、会報誌の充実や SNS による情報交流の場を拡充し、建築士はもとより市民への建築情報提供に尽力されています。
田代加奈氏は、平成 10 年から女性委員会に所属し、平成 13 年から評議員、平成 28 年から理事に就任され、市民が住まいを考える一助となる「安心・安全安らぎの家」冊子を重版し、平成 29 年に女性の視点から「ワールドカフェ～建築女子がきずく未来」の運営を牽引するなど、女性建築士の活躍の場を拡げ、平成 30 年に建築表彰委員長、令和３年から建築相談委員長に就き、地域社会への貢献に努められています。

Topics

箕面市立 文化芸能劇場・船場図書館・船場生涯学習センター 見学会＋説明会

日程：令和4年5月12日（木）
会場：箕面市立船場生涯学習センター
参加者：37名

吉村淳二（研修委員会 設計・設備・法令委員長）

北大阪急行の延伸計画を見据えて、かつて繊維の街として発展してきた箕面市船場に、3つの魅力的な公共施設がPFI事業により誕生しました。大小2つのホールを持ち優れた音響とデザインの融合を実現した箕面市立文化芸能劇場、箕面市と大阪大学の連携による新しい形の図書館を目指した箕面市立船場図書館、市民の文化・生涯学習を触発し知の交流を促す新拠点となる箕面市立船場生涯学習センター、これら3つの施設の設計者から計画の説明を受け、一緒に施設を見学できるという講習会です。コロナ禍にもかかわらず定員は早々に満員に達しました。

まず、初めに生涯学習センターで、建築計画、構造計画、設備計画についてそれぞれの設計担当者の方々から詳しい説明を受けました。外観は箕面船場地域（繊維団地）を象徴する「織りのスクリーン」の箱や木のルーバーで覆われた箱など、質感のある箱がリズミカルに積層するデザインで奥行きのある魅力的な景観づくりを目指したとのこと。劇場は幅広い用途に対応できる自走式の音響反射板の採用や最適な音響設計により心地よい豊の音の環境を実現するとともに、箕面の大滝をデザインモチーフとしたインテリアデザイン、繊維の街箕面を竹材を縦横に編んだ壁面で表現したデザイン、それらを音響機能と高いレベルで融合させるという設計者の確かな技術力と強い意志を感じました。また、遮音性・耐震性・合理性をバランスよく実現する構造架構、気流解析による快適性と省エネルギーを両立した空調計画、3D照度シミュレーションによる適正な照明計画について各担当者から詳しい説明を受けることができました。

施設見学では、普段は入ることのできない劇場舞台袖や舞台裏まで案内していただき、舞台装置等の特殊設備を間近で、しかも設計者の解説付きで見学できたことは貴重な体験となりました。図書館の動線に沿った吹抜の連続空間も見応えがあり、大変密度の濃い3時間となりました。

令和5年度開業予定の北大阪急行南北延伸でこの魅力的な街づくりは更に加速するでしょう。アフターコロナの人々の豊かな営みとこの街の成長が本当に楽しみです。

箕面市立文化芸能劇場　大ホール

建築相談室から（62）　長屋の相談

橋本頼幸（建築相談委員会幹事）

大阪にはたくさんの長屋がまだまだ残っています。リノベーションなどで注目され、利活用されている長屋がある一方で都市の中で取り残され、維持管理が行き届かず、隣が空き家になったり、突然解体の申し入れがあったり、長屋独特の問題もたくさんあります。建築相談室にも長屋の電話相談は昔からたくさんあります。今月はそのようなよくある相談をご紹介いたします。

建替計画中…

淀川区の男性から「長屋の切り離し建て替えを計画している。間口は1.5間で、壁を残して10cm離して新しい壁を作る予定であるが、どんな工法があるのか。サイディングの内張り工法は出来るのか。」との電話相談。電話でサイディングの工法などについて説明をしたようでしたが、既に相談者は知っていたとのこと。近年は瑕疵担保保険の関係でサイディングの内張りが実質出来ないことから、1.5間の間口ではかなり狭い間口になります。

長屋の所有者から

西淀川区の女性から「4軒長屋の2軒を所有している。建物は79年と古いため、賃借人に出て行ってもらいたい。住宅情報センター、防災センターなどほうぼう相談したが、一様に建物1棟（4軒全体）としてしか耐震診断ができないと言われた。1軒のみの診断をして欲しい。」という相談。相談員の回答も、他の相談窓口と同様で1軒のみの耐震診断はできない、他の所有者と話をしてください、となっていました。

切り離し工事の連絡があった

東住吉区の男性。「築70年以上の今は2軒長屋で端住戸に住んでいる。以前は3軒長屋であったが、端住戸は既に解体されており、相談者は以前から端住戸。隣が売却して切り離しの申し出があった。売主、買主の不動産業者、仲介業者、解体業者と順に説明を受けたがよくわからない。当方が注意することや隣所有者や解体業者に要望できることを知りたい」という相談。この方は面接相談を希望されていたため後日面接相談対応をしています。

隣解体中に…

築70年の長屋に住んでいる男性から「隣が今日から解体工事が始まった。昨日解体されることを知って、夜間法律相談に行った。そこで解体工事の差止請求をする必要があり、解体によって安全性に問題がある旨の書面が必要との弁護士の助言をもらった。建築士会でそのような書面が作れるか」という相談。数日で結果を求められる緊急性のある相談という面では珍しいものの、このような相談もよくある相談です。

よくある相談だけど長屋相談は難しい

どれもよくある相談で、過去の建築相談室の相談記録にたくさん見られます。しかし、建物は全て異なり、相談者が求めているものも様々な故に常に相談者は工夫と苦労を重ねていることが相談記録から垣間見えます。

Information

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離隔距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。
感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。
不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。
令和3年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。
スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご活用ください。
（業務内容）
　耐震診断報告書の審査、評価
　耐震補強計画案の審査、評価　等
（対象建築物）
　公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
（会員特典）
　申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習8/25、10/27　CPD各5単位
更新講習6/22、2/22　CPD各2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみに認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2019年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。
▼新規講習（DVD）
日時　8/25（木）、10/27（木）
　　9：30～17：00
会場　本会会議室
定員　20名（定員に達し次第締切）
受講料　WEB申込21,450円
　　郵送申込22,000円
▼更新講習（DVD）
日時　6/22（水）、2/22（水）
　　13：30～16：50
会場　本会会議室
定員　20名（定員に達し次第締切）
受講料　WEB申込17,000円
　　郵送申込17,600円
▼申込　日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も開催いたします。

令和4年度監理技術者講習

（監理技術者以外の方も受講可能）
7/6、9/2　CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。
日時　7/6（水）、9/2（金）　8：55～17：00
会場　本会会議室
定員　各回20名（定員に達し次第締切）
受講料　WEB申込み9,500円
　　郵送申込み10,000円
申込　日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html

令和4年度建築士定期講習

7/27、8/19、10/20、11/18、12/16、1/19、2/7、3/2　CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成31年度・令和元年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。
▼対面講義
日程・会場・定員
　7/27（水）　大阪YMCA会館　100名
※8/19（金）　大阪国際会議場　200名
　10/20（木）大阪YMCA会館　100名
※2/7（火）　大阪YMCA会館　100名
▼DVD講義
日程・会場・定員
※11/18（金）大阪府建築健保会館　50名
※12/16（金）大阪府建築健保会館　50名
　1/19（木）　大阪府建築健保会館　50名
※3/2（木）　大阪府建築健保会館　50名
時間　9：15～17：00（各講習日共）
受講料　12,980円（消費税含。事前振込）
申込方法
　申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。（平成31年度・令和元年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。）ご記入後、大阪府建築士会事務局又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。
受付場所（送付場所）
　※印の日程　大阪府建築士会事務局
　※印以外の日程　大阪府建築士事務所協会事務局
注）各回定員に達し次第、受付を終了します。
▼建築技術教育普及センターHP
https://www.jaeic.or.jp/koshuannai/teikikoshu/kteiki/kt-koshujisshi2021.html

建築士の会「大阪市東」新入会員歓迎企画
天王寺七坂めぐり

～「悠久の歴史」と「桜」に触れるウォーキング～
6/11　CPD3単位

大阪市天王寺区の南西部にある上町台地の斜面に、「天王寺七坂」と呼ばれている7つの坂があります。上町台地以外は全て海だった1500年ほど前の万葉の昔より、パワースポットとしても親しまれてきたこのエリアは、聖徳太子1400年御聖忌に沸く四天王寺をはじめ仏閣が多く残る寺町でもあり、著名人の墓や碑も数多く残る非常に風情のあるところです。五月雨の季節ですが、濡れた石畳も風情があります。悠久に思いを馳せながらゆっくりと散策してみませんか？
日時　6/11（土）　14：00～16：30
集合　天王寺区生國魂神社　13:30より受付
定員　20名（申込先着順）
参加費　会員500円、会員外1,000円
　　新入会員100円
　　（令和3年4月～令和4年6月入会者）

2022年 建築紛争における法的措置とその対応策

～前大阪市・堺市建築審査会会長と大阪地方裁判所裁判官を招いて～
6/17　CPD3単位

前大阪市・堺市建築審査会会長を歴任された学識者と大阪地方裁判所裁判官とを講師に迎え、建築紛争における法的措置とその対応策について講演会を開催します。
建築設計、ディベロッパー、施工、建築確認などの業務に携わっておられる方や、実際に建築紛争に関わっておられる方のご参考になれば幸いです。
日時　6/17（金）　14：00～17：00
会場　大阪府建築健保会館　6階ホール
受講料　建築士会会員3,500円
　　後援団体会員4,500円
　　一般5,500円

歴史的建造物をめぐる動向

～行政による取り組みと民間の動き～
6/20　CPD2単位（予定）

歴史的建造物をテーマに、京都大学大学院の中嶋節子教授を講師に迎え、公共建築における近年の事例や民間の動きなどの紹介を通じて、今、何が目指されているのか、今後の展望などをお話しいただきます。
日時　6/20（月）　18：00～20：00
会場　本会東会議室
定員　40名（先着順）
参加費　会員1,500円　会員外2,000円
　　本会新入会員（2020年度以降入会）
　　無料
　　令和2・3年建築士合格者会員 無料
　　令和2・3年建築士合格者会員外
　　1,500円
講師　京都大学大学院 人間・環境学研究科教授
　　大阪府建築士会副会長　中嶋節子

建築相談委員会 住宅を設計する仲間達分科会企画 講演＆交流会
建築設計事務所の仕事

6/22　CPD2単位

TVや雑誌など、さまざまなメディアで発信を続けておられる建築家の守谷昌紀氏をお迎えし、仕事への取り組みや向き合い方、活躍の場を広げる手法、何よりどうやって仕事を獲得してきたかなど、普段は聞けない裏話も含めて丸ごとお話しいただく企画です。
建築士の資格を取ったばかりの方や、いつか独立を考えている建築士の方はもちろんのこと、仕事の展開を図りたい設計事務所の方にとっても、ヒントに出会う機会になるかもしれません。不安や疑問に本音でお話しいただきます。気軽にご参加ください。
日時　6/22（水）　18：30～20：00
会場　本会東会議室
講師　守谷昌紀
　　㈱一級建築士事務所アトリエm代表
定員　25名（定員に達し次第締切）
参加費　会員1,000円　会員外1,500円

建築士の会 南河内
建材屋さんの話/プレカット工場見学/加賀屋新田会所跡見学会

6/23　CPD4単位

大阪住之江区平林にある都市型プレカット工場、構造計算、構造図、プレカットの一貫製作プレテック㈱と加賀屋新田会所跡の見学会です。
日時　6/23（木）
　　9：45～　受付
　　10：00～12：00　プレカット工場見学
　　13：30～15：30　加賀屋新田会所跡見学
定員　30名（定員に達し次第締切）
参加費　会員500円　会員外1,000円
　　学生無料（学生証提示による）

デジタル化社会におけるスマートシティ戦略と最新まちづくりの動向

6/27　CPD3単位

国、大阪府における行政のデジタル化とスマートシティ戦略の動向について大阪府からの講演に併せ、東京と大阪の最新スマートシティの取組事例を各プロジェクトのご担当者にご紹介いただき、各講師によるパネルディスカッションを開催いたします。
日時　6/27（月）　14：00～17：15
会場　大阪府建築健保会館　6階ホール
受講料　建築士会会員3,500円
　　後援団体会員4,500円
　　一般5,500円

INFORMATIONの詳細は本会ホームページに掲載しています。本会の事業はホームページから申込できます。
【大阪府建築士会】大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階 http://www.aba-osakafu.or.jp/
メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

＜創立70周年記念シンポジウム＞
水都大阪の未来を拓く 在宅福祉とウォーターフロントの革新
7/1　CPD6単位

2025年の大阪・関西万博を迎えるにあたり、大阪の未来を考える契機としてシンポジウムを開催いたします。
＜1部＞建築士が住宅建築に関わっていく中で、機能性に加えて居心地等を重視した福祉施設の在り方を考え、これからの在宅福祉と建築の連携を考えます。
＜2部＞大阪は淀川河川敷整備やまちなかの水辺空間などが進行する中、水運など水辺の利用に関するウォーターフロント活用の変革を考えます。
両シンポジウムによって、建築士が市民に何を示すべきかを発信したいと思います。
日時　7/1（金）　10：00～17：00
会場　大阪工業大学梅田キャンパス OIT梅田タワー常翔ホール
定員　300名
参加費　会員2,000円　会員外3,000円 学生無料

大阪府ヘリテージマネージャー協議会
建築士の会 いずみ野　共催
泉大津市
『浜街道まち歩きと歴史的まちなみの活用を考える』
7/16　CPD4単位（予定）

紀州街道の海側に平行して走る「浜街道」には、江戸時代以降の町家建築が多数残され、泉大津市の貴重な文化資産になっています。工場を象徴するのこぎり屋根や虫籠窓、鍾馗様が鎮座する屋根飾りなど貴重な建築様式があちらこちらに見られ、伝統的建造物群と、毛布発祥の地として住工が混在する一種独特な歴史的景観をかもし出すまちなみとなっています。
まち歩きは泉大津市文化財保護委員会のご協力・ご案内で、普段は拝見できない歴史的建造物の町家や工場遺構・寺院などの内部の見学も予定しています。
日程　7/16（土）
12：50　集合
13：00～15：00　浜街道まちあるき
15：15～16：15　大場修氏　講演
「泉大津の町並－町家から地場産業都市を読み解く－」
16：15～16：45　泉大津市教育委員会奥野氏「浜街道の現状と活用について」及び意見交換
集合場所　南海線（空港線）泉大津駅1F
会場　泉大津市図書館シープラ多目的室
講師　大場　修（おおば おさむ）
立命館大学衣笠総合研究機構教授・京都府立大学名誉教授
参加費　1,500円
定員　40名（申込先着順）

第31回 全国女性建築士連絡協議会（東京）「未来へつなぐ居住環境づくり」
～これからの快適で健康な住まい～
7/17　CPD3単位　　7/18　CPD2単位

日本建築士会連合会 女性委員会では、『未来へつなぐ居住環境づくり』～これからの快適で健康な住まい～をテーマに、東京会場とオンラインの両方で開催します。基調講演では早稲田大学教授の田辺新一氏をお迎えして、ウィズコロナ時代の換気や省エネ等、これからの快適で健康な住まいに関してお話しいただきます。
日時　7/17（日）　13：30～17：30
開会式・活動報告・被災地報告
基調講演
「これからの快適で健康な住まい」
講師　早稲田大学教授 田辺新一
7/18（月・祝）　9：00～12：00
分科会・全体会
会場　日本建築学会建築会館ホール、他（東京都港区芝5丁目26番20号）
参加費　会員 現地参加　2,000円
オンライン参加　1,000円
会員外 現地参加　3,000円
オンライン参加2,000円
学生無料
申込締切　6/10（金）
申込　本会女性委員会事務局まで

我が町「堺」再認識
水辺空間と生き物
7/23　CPD1単位（予定）

堺市南部丘陵の地理的、歴史的な勉強、人と生き物が共存する水辺空間と堺自然ふれあいの森を体感し、そこを住処とする多くの生き物を観察し、我が町「堺」を再認識する。
日時　7/23（土）　9：45～14：00
集合　9：45　泉北高速鉄道泉ヶ丘駅「いずみがおか広場」
参加費　300円
定員　15名（定員に達し次第締切）
申込締切　7/15（金）

第64回建築士会全国大会 あきた大会
10/14

今年の建築士会全国大会は、秋田で開催致します。会員には大会登録料5,000円を補助します。
テーマ　「建築」で挑戦！郷土のこれから ～け、け、けの秋田で まずかだれ～
期日　10/14（金）
会場　あきた芸術劇場ミルハス 秋田市千秋明徳町2-52
※全国建築士フォーラム、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会は10/13（木）に実施。
※地域交流見学会（エクスカーション）は10/15（土）に実施。
申込　建築士5月号P37の参加申込書に必要事項をご記入の上、本会事務局に7/15（金）までにご提出下さい。
大会の詳細は「建築士5月号」をご覧下さい。

行政からのお知らせ

EV充電設備の導入を支援する補助金のご案内

大阪府では「電気自動車用充電設備導入支援補助金」の募集を開始しました。
本事業は、大阪府民が利用する駐車場に充電設備の設置を促すことにより、電気自動車（EV）等を利用しやすい環境を整えて普及を促進することで、自動車から排出される二酸化炭素の削減を目指しています。
■補助対象となる充電設備
経済産業省「クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金」に基づくもののうち、「商業施設及び宿泊施設等への充電設備設置事業（目的地充電）」の交付決定をうけたもの
※府補助額は、充電設備購入費に係る国補助額の二分の一です。
※工事費は府補助金の補助対象外ですが、国補助金で対象となります。
■補助対象となる施設の例
商業施設・宿泊施設・遊戯施設・観光施設・公共施設・飲食施設の利用者が使用する駐車場、時間貸し駐車場（個人宅や従業員専用駐車場等、特定の利用者しか利用できない駐車場は対象外です）
■申請受付期間　11/11（金）まで
■詳細は、下記URLにてご確認ください。
URL：https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/juuden/

令和4年度建設リサイクル法説明会（第1回）
6/16

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」のほか、建築物等の解体等作業に伴うアスベスト関係法令等に関する説明会を開催します。
主催　大阪府内建築行政連絡協議会建設リサイクル部会
（大阪府と建築主事を置く府内17市で構成）
日時　6/16（木）　13：30～16：30
（受付開始13：00）
会場　大阪府咲州庁舎44階大会議室
大阪市住之江区南港北1-14-16
最寄駅　大阪メトロ「コスモスクエア駅」
定員　90名程度
内容
（1）建設リサイクル法の概要について
（2）解体工事業の登録及び許可申請ついて
（3）石綿障害予防規則等の改正について
（4）大気汚染防止法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例について
（5）建設廃棄物の適正処理と再資源化について
（6）PCB廃棄物等の処分に係る実務の概要について
参加費　無料
申込期間　5/19（木）～6/13（月）
（ただし、定員になり次第締切）
問合　大阪府都市整備部住宅建築局建築指導室審査指導課開発許可グループ
Tel.06-6941-0351（内線3092）
電子申請による申込
https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukiId=2022040110

大阪府石綿飛散防止対策セミナー
6/28

日時　6/28（火）　13：30～16：30
（12：45開場）
会場　大阪市立阿倍野区民センター大ホール
内容
（1）解体等工事に伴う石綿飛散防止対策について
（2）石綿含有仕上塗材及び下地調整材について
（3）大気汚染防止法及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律について
参加費　無料
申込　https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukiId=2022050008
問合　大阪府環境管理室大気指導グループ
Tel.06-6210-9581

その他のお知らせ

被災建築物の応急危険度判定（養成）講習会
6/24、8/23、10/21、12/19、2/14
CPD各3単位

地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う大阪府被災建築物応急危険度判定士を養成する講習会です。
日程　6/24（金）、8/23（火）、10/21（金）
12/19（月）、2/14（火）
時間　受付12：30～、講習13：10～17：00
会場　大阪府建築健保会館6階ホール
定員　各回80～150名
（新型コロナウイルス感染状況により調整）
受講資格　大阪府内在住または在勤の一級建築士、二級建築士、木造建築士並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員
受講料　無料
テキスト代　1,600円（税込）
申込・問合　一般財団法人大阪建築防災センター企画耐震部
Tel.06-6942-0190

委員会活動予定

研修部門			CPD	実施日	定員
研修委員会（設計・設備・法令担当）					
	2022年建築紛争における法的措置とその対応策		5	6/17	140
	デジタル化社会におけるスマートシティ戦略と最新まちづくりの動向		3	6/27	140
研修委員会（構造・施工担当）					
	2022年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会				
	・一般診断法	第1回、第2回	各5	10/12、12/14	各40
	・限界耐力計算法	全1回	6	8/3	40
受託講習					
	令和4年度建築士定期講習 （対面講義）	第1回～第6回、第10回	各6	5/31～2/7	各回で設定
	令和4年度建築士定期講習（DVD講義）	第7回～第9回、第11回	各6	11/18～3/2	各回で設定
	監理技術者講習	第3回、第4回	各6	7/6、9/2	各20
事業部門			**CPD**	**実施日**	**定員**
女性委員会					
	歴史的建造物をめぐる動向～行政による取り組みと民間の動き～		2	6/20	40
	茶室の話		2	9/3	40
シニアサロン					
	四天王寺の仏像を観る～仏像鑑賞の手引きとして～		2	5/19	40
賛助委員会					
	大型木造建築物の構造見学会		調整中	8/27	調整中
社会貢献部門			**CPD**	**実施日**	**定員**
耐震インスペクション委員会					
耐震診断					
	耐震診断業務 建築物耐震評価委員会			6/21、7/26、8/23、9/20、10/25、11/22、12/27	
	大阪府ブロック塀耐震診断				
インスペクション					
	既存住宅状況調査				
	既存住宅状況調査技術者講習（対面講習）		新規5、更新2	5/26～2/22	各20
	既存住宅状況調査技術者講習（WEB講習）		新規5、更新2	4/1～10/15	各回で設定
	大阪市老朽化住宅建替アドバイザー派遣				
	泉佐野市　特定空家撤去工事包括的業務委託				
	貝塚市　特定空家等の診断にかかる業務委託				
建築相談委員会					
	建築相談活動（電話月～金（13:00～16:00）・面接・現地）				
	大阪弁護士会との共催セミナー			2月	
住宅を設計する仲間達分科会					
	講演会「建築設計事務所の仕事」		2	6/22	25
マンション維持管理支援委員会					
	マンション大規模修繕マニュアルの作成				
	マンション診断調査・受託業務				
	マンションアドバイザー派遣				
地域まちづくり委員会					
地域分科会					
	「大阪大学箕面キャンパス」見学会	（北摂）	2	6/4	45
	天王寺七坂めぐり	（大阪市南）	3	6/11	20
	建材屋さんの話/プレカット工場見学/加賀谷新田会所跡見学会	（南河内）	3	6/23	30
防災分科会					
	3/26福島県沖地震に係る調査技術者派遣			4/14～7/1	
まちづくり分科会					
	2022年度大阪地域貢献活動事業助成（2団体に助成）				
ヘリテージ委員会					
	浜街道まち歩きと歴史的まちなみの活用を考える		4	7/16	40

水都大阪の未来を拓く

在宅福祉と

ウォーターフロントの革新

主催　公益社団法人 大阪府建築士会
創立 70 周年記念シンポジウム

6 単位

2025 年の大阪・関西万博を迎えるにあたり、大阪の未来を考える契機としてシンポジウムを開催いたします。
＜１部＞
建築士が住宅建築に関わっていく中で、機能性に加えて居心地等を重視した福祉施設の在り方を考え、これからの在宅福祉と建築の連携を考えます。
＜２部＞
大阪は淀川河川敷整備やまちなかの水辺空間などが進行する中、水運など水辺の利用に関するウォーターフロント活用の変革を考えます。
両シンポジウムによって、建築士が市民に何を示すべきかを発信したいと思います。

日時

2022 年 7 月 1 日（金）建築士の日

10：00～17：00

会場

大阪工業大学梅田キャンパス

OIT 梅田タワー常翔ホール　大阪市北区茶屋町 1-45

１部　10：00～12：00

これからの住まいと福祉

二井　清治　㈱二井清治建築研究所代表取締役

二井るり子　㈲プラネットワーク代表取締役

コーディネーター

寺地　洋之　大阪工業大学教授

２部　13：00～17：00

ウォーターフロント活用の可能性とその意義

基調講演　13：00～14：30

陣内　秀信　法政大学特任教授

パネルディスカッション　14：50～16：50

前田　昌則　大阪市北区長

藤本　壮介　㈱藤本壮介建築設計事務所代表取締役

(c) David Vintiner

堀　　感治　㈱One Osaka ループバス推進機構理事長
㈱関西インバウンド事業推進協議会
（ワンダーグループ）代表取締役社長

杉本　容子　（一社）水辺ラボ代表理事
㈱ワイキューブラボ代表取締役

コーディネーター

髙原　浩之　㈱HTA デザイン事務所代表取締役

協力　学校法人　常翔学園

後援　（順不同）

（公社）日本建築士会連合会
（公社）滋賀県建築士会
（一社）京都府建築士会
（公社）兵庫県建築士会
（一社）奈良県建築士会
（一社）和歌山県建築士会
（一社）日本建築協会
（公社）日本建築家協会近畿支部
（一社）日本建築学会近畿支部
（一社）大阪建設業協会
（一社）日本建築材料協会
（一社）大阪府建築士事務所協会
（一社）日本建設業連合会関西支部
（一社）日本建築構造技術者協会関西支部
（公社）日本建築積算協会関西支部
（一社）建築設備技術者協会近畿支部
（一社）大阪電業協会
（一社）大阪空気調和衛生工業協会
（一社）大阪府設備設計事務所協会
（一社）関西建築構造設計事務所協会
大阪弁護士会
（公社）全日本不動産協会大阪府本部
（一社）大阪府宅地建物取引業協会
（公社）大阪府不動産鑑定士協会

協賛　（50 音順）

(株)アーキ・ネクスト
(株)アイ・イー・エル
(株)アイ工務店
(株)アイテク
アマテイ(株)
(株)荒木造園設計
(株)イマガワ
(株)上田茂久・建築設計工房
(株)内山鑑定事務所
エーアンドエー(株)
エディフィス省エネテック(株)
(株)エヌ・シー・エヌ
大阪工業技術専門学校
大阪府建築健康保険組合
大阪府建築企業年金基金
(一社)大阪府木材連合会
(一財)大阪建築防災センター
(株)オカムラ大阪支店
(株)岡本銘木店
兼松サステック(株)
関西ペイント販売(株)
近畿外壁仕上業協同組合
クマリフト(株)
グラフィソフトジャパン(株)
コーナン建設(株)
小松ウオ－ル工業(株)
(株)繁建築構造設計事務所
(学)修成学園 修成建設専門学校
(株)スクリムテックジャパン
(株)総合資格関西本部
(株)ソフト９９コーポレーション
大建工業(株)
ダイドレ(株)
大和リース(株)
中和印刷紙器(株)
ＴＯＴＯ(株)関西支社
(株)長田建築事務所
(株)能勢建築構造研究所
(株)ピアレックス・テクノロジーズ
(有)ビコウエンジニアリング
福井コンピュータアーキテクト(株)関西営業所
(株)マサキ設備
村上木材(株)
森村金属(株)
(株)山中製作所
(株)ユニオン
(株)よし与工房
(株)ＬＩＸＩＬ
ＹＫＫ ＡＰ(株)

記憶の建築

建築的散策路による開かれた公共空間の実現

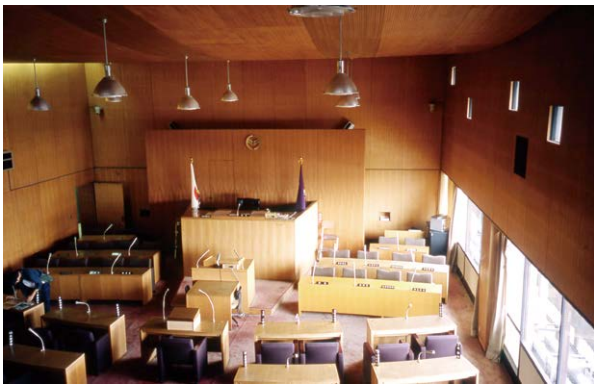
羽島市庁舎　一九五九年

文・写真＝松隈 洋［京都工芸繊維大学教授］

また一つ、日本の戦後モダニズムを代表する建築が、人知れずその姿を消そうとしている。それが、坂倉準三が設計を手がけ、郷里の岐阜県羽島市に一九五九年に竣工した羽島市庁舎である。二〇二二年二月二八日、「今後の方向性」を審議する「あり方検討委員会」（委員長／内田裕市岐阜大学教授・コンクリート工学）は、「耐震性に乏しく、老朽化の進んだ旧庁舎を改修し、将来にわたり維持していく財政負担を羽島市に強いることは、現実的ではありません」として、「保存せず解体」が「最善の判断」とする結論を市長に答申した。

同庁舎は日本建築学会作品賞の受賞作であり、この答申を受け、わずか三日後の三月三日、日本建築学会東海支部は市長宛に保存要望書を提出している。けれども、同じく坂倉による隣地に建つ勤労青少年ホーム（一九六三年）を先に取り壊し、二〇二一年七月に、その跡地に新庁舎（設計／佐藤総合計画）を完成させた経緯からも明らかなように、何もなかったかのように、粛々と解体は進められるのだろう。

北側から見る庁舎全景



四階議場の内観

だが、振り返れば、五〇周年を迎えた二〇〇九年九月、市の『広報はしま』は、「坂倉準三と羽島市庁舎」を特集し、この庁舎が、「市政五周年記念事業」として建設され、当時の新聞に「海外の建築を取り入れて設計したホテル式の豪華な建物」と評されたと謳っていた。そして、元助役の「五〇年、庁舎を見てきましたから、これからも大切に使ってほしいですね」というコメントも紹介された。それから十年余り、建築とはかくもはかない存在なのか。

そんな中、ここで改めて書き留めておきたいのは、坂倉と彼の下で設計を担当した阪田誠造（一九二八～二〇一六年）が、この代表作となる庁舎に、どのような方法を試みていたのか、そして、そこから読み取れる坂倉が師事したル・コルビュジエから学び取った建築精神のありかである。

敷地はもともと蓮田であり、道路面より下がっていた。そのため、各階へのアプローチに都合が良いようにメインエントランスを二階に取り、そこに至る大きな斜路を設けたのだ。また、その際、市町村合併により、南北両方の町に等しく顔を向ける必要があり、斜路は南北両面へと伸び、庁舎にあえて正面性を持たせない工夫も施された。さらに、庁舎内に、市役所機能の他に、市民の日常生活に資する図書館や公民館を同居させることが条件に盛り込まれたので、三階に図書館、四階に公民館を配し、直接そこへ上がれる歩行者用の外部スロープを独立して設け、消防用の望楼（監視塔）を組み合わせる造形が編み出されていく。こうして、前庭に蓮田のなごりとしての浅い池を配し、頂部に議場と公民館の特徴的な形の屋根をそれぞれ載せながら、アプローチの斜路と外部スロープ、望楼からなるダイナミックな空間構成の庁舎が誕生する。

一九九六年、阪田は、弟子たちの寄稿文集として作成された『坂倉先生の想い出』の中で、羽島市庁舎について、次のように書き留めている。

「自分の構想や思考を図にして直接坂倉さんと打合せ、議論し、検討を重ね、指示のもとに設計を進めることが出来る、所謂始めてチーフとして担当したのが、一九五七年から五九年までの丸二年間、坂倉さんの生家がある岐阜県羽島市庁舎の設計監理であった。

その頃、伝統論が雑誌を賑わせていた。当然時流に影響されている僕は、坂倉さんに何度かその議論を持ち出した。坂倉さんは、雑誌に記事に、直ちに影響を受けて浅薄な言辞を弄する若い所員を、揶揄しながら窘めるのが常であった。（中略）頭で理解した設計理論、とくにジャーナリズムが紙面を賑わせているキーワードに引きずられて、設計をすることの底の浅さを窘められたのだ。（中略）言葉で考えることが不必要などというのではない。明晰な理論構築は既にコルが示している。（中略）何よりも身体感覚を鍛えること、人間生活の多層な場面に触れることから得た、身体化した建築家の知がなければ設計など出来ない、という考えを強く主張されたように思われるのである。坂倉さんの、師コルビュジエに対する信頼と敬愛の深さが思われると同時に、建築に対する身体知と感性の研鑽の重視を、僕は思い出の中に重く受け止めている。」（阪田誠造「坂倉準三先生のつれづれの思い出」）

ここで阪田が記した、ル・コルビュジエの「明晰な理論」と「身体化した建築家の知」とは何だったのか。その鍵は、遠く、坂倉が彼のアトリエに入所した一九三一年に竣工したサヴォア邸に結実した方法にあるのではないだろうか。ル・コルビュジエは、『作品集第二巻』（一九三四年）の巻頭を飾ったサヴォア邸の解説文に、次のように記していた。

「歩くこと、移動することで、建築のつくられ方が展開していく。（中略）この家の場合、本当に建築的な散歩によって、次々と変った、予期しない、時に驚くべき姿を呈するのだ。」

ここに提示された、人間が移動する中で空間の変化を楽しむ「建築的な散歩」という方法こそ、坂倉が学び取り、身体感覚を鍛えることを自覚する起点となった「明晰な理論」であり、「身体化した建築家の知」だったのだと思う。

そして、坂倉は、この方法を、パリ万国博覧会日本館（一九三七年）、高島屋和歌山支店（一九四八年）、神奈川県立近代美術館（一九五一年）を通して、自らの手で実践していく。さらに、その方法は、単体の建築にとどまらず、高島屋大阪難波新館改増築（一九五〇年）、南海会館（一九五七年）、渋谷東急会館（一九五四年）、新宿西口広場・地下駐車場（一九六六年）など、都市デザインにまでそのまま応用されていくのだ。こうして、羽島市庁舎の歴史的な位置と価値が見えてくる。今はただ、そこに試みられた方法の意味を噛み締めて記憶しておきたい。

変わること、
変わらないこと。

大量生産・大量消費ではなく、
確かな品質と美意識を宿した製品が、
時代を超えてながく愛されること。

私たちユニオンは、
創業からずっと、持続可能な未来の在り方を見つめ、
ドアハンドルを“アートウェア”と呼べる
領域にまで高めてきました。

そして今、ものづくりのさらなる持続性を追求し、
役目を終えた製品をアップサイクルすることで
新たな循環を生み出そうとしています。

時代がどのように大きく変化しようとも、
私たちはこれからも
地球基準のアップデートを重ねていきます。

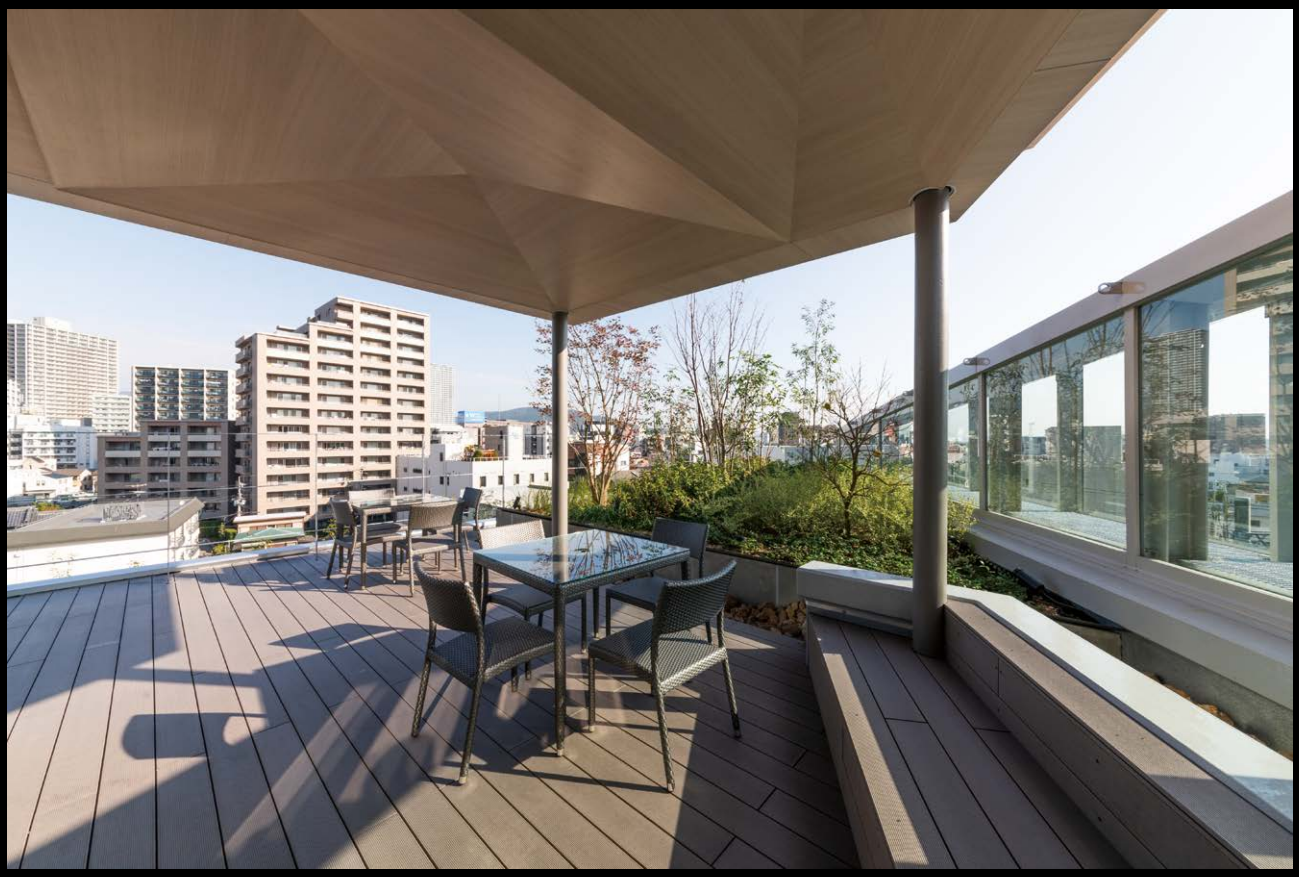
アートウェアの本質を、変えることなく。

UNION
ARTWARE

New Catalog Archism Series 2022–2023
最新カタログ［アーキズムシリーズ］

カタログ請求はwww.artunion.co.jpよりお申し込みください。

［本社・大阪支店］ 550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731
［東京支店］ 135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811
［名古屋営業所］ 454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221
www.artunion.co.jp



高槻市を見渡す屋上テラス

階段状にセットバックした屋上庭園